

HiAGE

耕耘機

取扱説明書

HG-K5080



はじめに

このたびは耕耘機をお買いあげいただき誠にありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。

 警告 誤った取扱をしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。	 注意 誤った取扱をしたときに、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。	 取扱においてその行為を禁止します。  指示に基づく行為を強制します。
--	--	--

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

もくじ

はじめに	2
もくじ	3
安全にお使いいただくために	4
安全ラベル	8
主要諸元	9
各部の名称	10
組立	11
運転前の点検	28
運転操作のしかた	31
点検・整備のしかた	37
長期間使用しないとき	42
故障と思ったら	43
お客様ご相談窓口	44

安全にお使いいただくために

耕耘機に係る安全事項



警告



- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ・指定された用途以外には使用しないでください。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・操作のしかたがよく分からない成年者も単独の使用はご遠慮ください。



- ・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。
- ・運転中は、排気ガスに十分注意してください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行って下さい。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。 所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。
- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・始動前点検を実施してください。
- ・製品を搬送の際、積み込み、積み下ろしは二人で行ってください。

安全にお使いいただくために

耕耘機に係る安全事項

警告



- ・本製品は、誤った取扱を行うと、使用者や近くにいる人が重傷に結びつくことがあります。
- ・マニュアルに記載されている警告や操作手順が不明な場合は、操作しないでください。
- ・点検整備作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。



- ・このマニュアルの中の警告と安全手順を必ず守ってください。
- ・部品交換は、純正部品を使用してください。
- ・破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になることがあります。
- ・点検整備をするときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取り付けたことを確認してください。
- ・整備・点検するときは、エンジンを停止し、エンジンが冷えてから、スパークプラグキャップを外してください。

安全にお使いいただくために

耕耘機の作業に係る安全事項

注意



- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・装置をご使用になる前に、エンジンの始動、停止のしかたを覚えてください。



- ・この説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ・定期点検整備を行ってください。
- ・可動部分の位置および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に変常がないか確認してください。
- ・燃料は無鉛ガソリンを使って下さい。

耕耘機の作業に係る安全事項

警告



- ・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・屋内で使用しないでください。
- ・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- ・急傾斜地では使用しないでください。
- ・石、コンクリート、金属、など硬質な物がある場所では使用しないでください。
- ・室内や換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・土や砂利道の上でローターを回転させないでください。
- ・作業する場所の異物はあらかじめ取り除いておいてください。
- ・回転部分に顔や手足、髪の毛、衣服などを近づけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・使用中は、点火プラグキャップ部や高圧コードに触れないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。

安全にお使いいただくために

耕耘機の作業に係る安全事項



警告

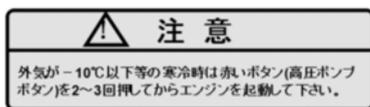
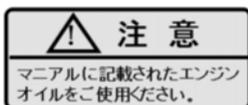


- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
 - ・エンジン回転中は、高さ調節をしないでください。
 - ・エンジンが熱いうちは、可燃物を近づけないでください。
- ・回転部分のカバーを外して運転しないでください。

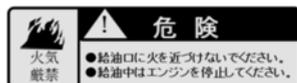


- ・使用前にローターに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・各部のネジに緩みが無いことを点検してください。
 - ・始動前点検を実施してください。始動前点検で異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
 - ・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽、耳栓などの作業に適した服装を心掛けてください。
 - ・使用者は、使用者自身や周囲の人、動物に対する危険事項を理解し、十分注意してください。
 - ・運転中は、排気ガスに十分注意してください。
 - ・ハンドルをしっかりと握り、正しい姿勢で作業してください。走るような操作はしないでください。
 - ・坂道の走行には注意してください。
 - ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
 - ・使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
 - ・異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、耕耘機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ耕耘機を再始動しないでください。
 - ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
 - ・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
 - ・製品を搬送する際、積み込み、積み下ろしは二人で行ってください。

安全ラベル



ご使用前に必ず取扱説
明書をよく読んで安全に
お使いください。

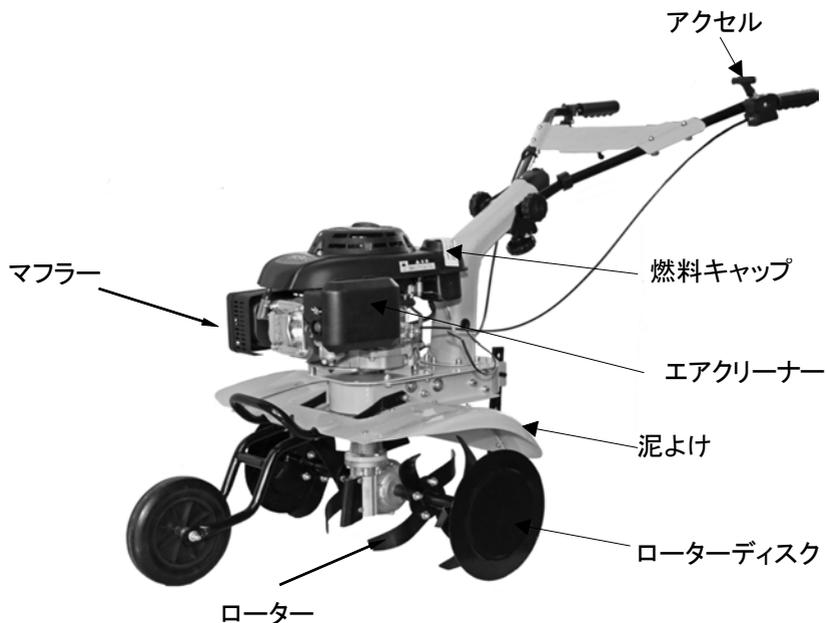


主要諸元

型	式	名	HG-K5080
機体寸法	全長 (m m)		1500
	全幅 (m m)		600
	全高 (m m)		650
機体質量 [全装備重量] (k g)			50
エンジン	名 称		LONCIN
	種 類		1P65FA 4サイクル
	総排気量 (c m 3)		159
	最大出力/回転数(kW[PS]/rpm)		3.2/3600
	使 用 燃 料		自動車用無鉛ガソリン
	燃 料 タ ン ク 容 量 (L)		1.2
	始 動 方 式		リコイルスターター(手動)
走行変速段数 (段)			前進1
ロータリー	駆 動 方 式		BELT & CHAIN
	耕 幅 (m m)		540
	爪 径 (m m)		260
	回 転 数 (r p m)		150/0/61
耕作深さ (m m)			200

この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

各部の名称



組立

●梱包部品一覧表

念のため、各パーツが不足していないかのご確認をお願いいたします。
不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

<p>爪 右爪 8個 左爪 8個</p> 	<p>ディープブレード</p> 
<p>耕うん軸 2個</p> 	<p>ハンドル サポート</p> 
<p>泥よけ</p> 	<p>ハンドルノブセット</p> 
<p>タイヤユニット</p> 	<p>接続用ピン</p> 
<p>ハンドル</p> 	<p>ハンドルパネル</p> 
<p>ローターディスク</p> 	

組立

●ローターの組立

爪を耕うん軸に取り付けます。

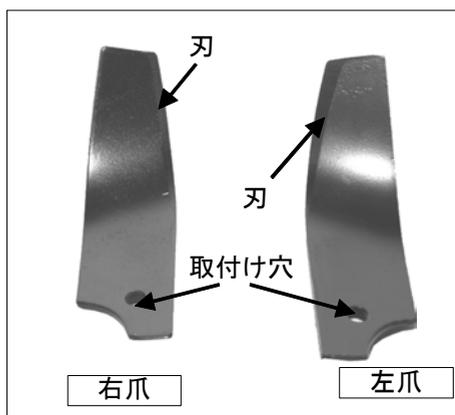
■取付け手順

1.爪は、2種類あります

取付け穴を下側、爪が上にそるように置いたとき、刃の位置が右側にある場合と左側にある場合の2種類があります。

刃の位置が右側にある爪を「右爪」
刃の位置が左側にある爪を「左爪」

と呼びます。



2.畝の立て方に合わせた爪の取付けかた

- 内盛り: すべての爪を内向きに取り付けます。
平面盛り: 爪を内向き、外向き、交互に取り付けます。
外盛り: すべての爪を外向きに取り付けます。

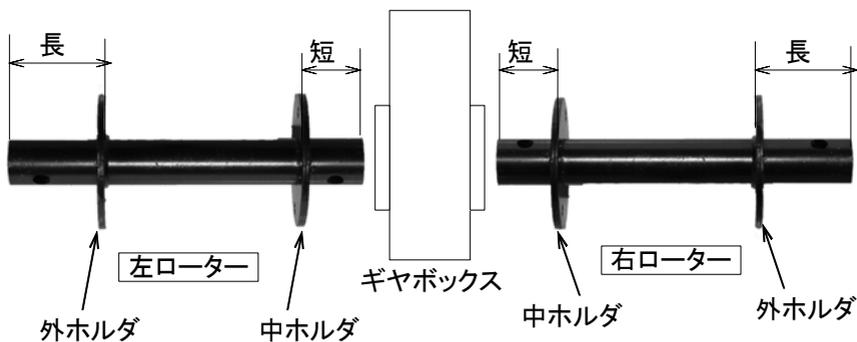
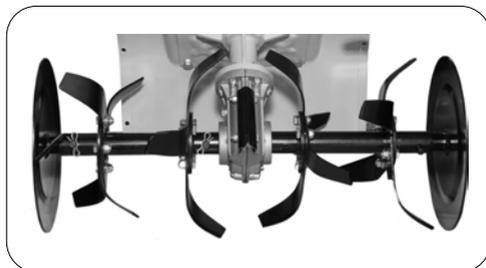


- ・説明書をよく読んで正しく取り付けてください。
- ・作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい。

組立

3.平面盛り用のローターの組立

本体の正面から、ローターを見たところ



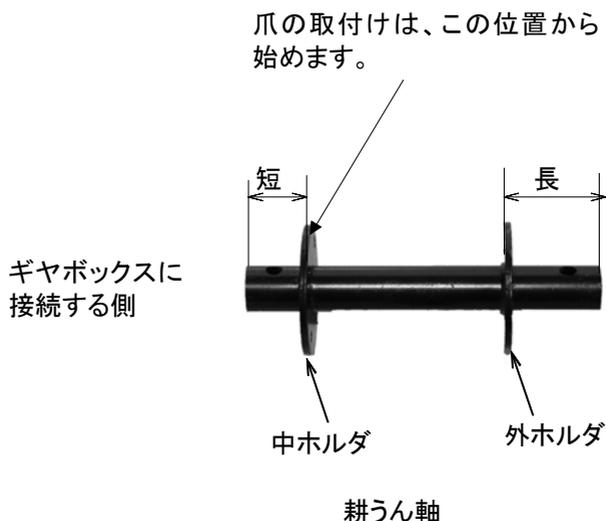
中心にあるギヤボックスを挟んで左ローター、右ローターを別々に組み立てます。

組立

1) 右ローターの組立

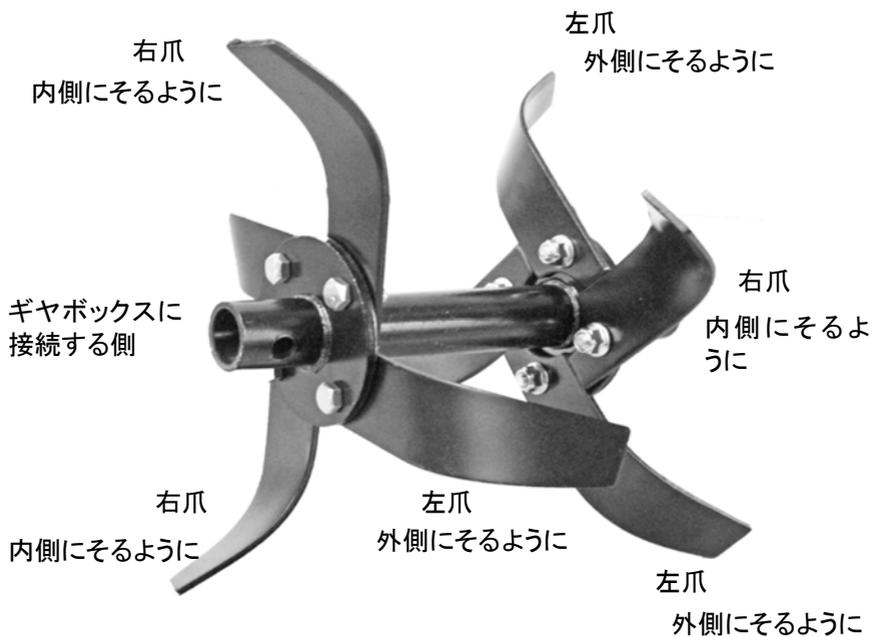
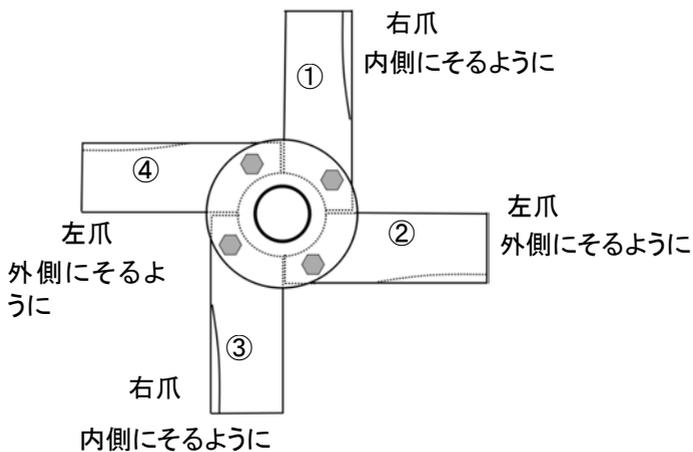
- ・ギヤボックス取付け側から見た状態で作業します。
- ・耕うん軸の中ホルダに、右爪、左爪を時計回りに順番に取り付けます。
- ・耕うん軸の外ホルダに右爪、左爪を時計回りに順番に取り付けます。

- ① 耕うん軸の内ホルダに右爪を内側にそるように、取付け穴を合わせ、ボルトを通し、反対側からナットを仮止めします。
- ② ①で取り付けた右爪の90° 時計回りに、左爪を外側にそるように取付け穴を合わせ、ボルトを通し、反対側からナットを仮止めします。
- ③ ②で取り付けた左爪の90° 時計回りに、右爪を内側にそるように取付け穴を合わせ、ボルトを通し、反対側からナットを仮止めします。
- ④ ③で取り付けた右爪の90° 時計回りに、左爪を外側にそるように取付け穴を合わせ、ボルトを通し、反対側からナットを仮止めします。
- ⑤ それぞれの爪が重ならないように調整し、すべてのナットを締め、爪をしっかり固定します。
- ⑥ 外ホルダに、同じ要領で爪を取り付けます。



組立

ギヤボックスに接続する側から見たところ

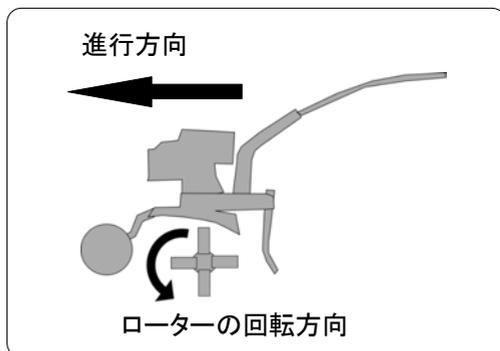
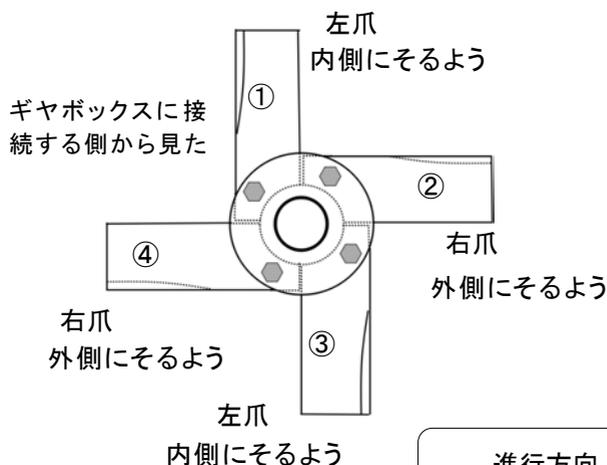


組立

2) 左ローターの組立

- ・ギヤボックス取付け側から見た状態で作業します。
- ・耕うん軸の中ホルダに、左爪、右爪を時計回りに順番に取り付けます。
- ・耕うん軸の外ホルダに左爪、右爪を時計回りに順番に取り付けます。

- ① 耕うん軸の中ホルダに左爪を内側にそるように、取付け穴を合わせ、ボルトを通し、反対側からナットを仮止めします。
- ② ①で取り付けた左爪の90° 時計回りに、右爪を外側にそるように取付け穴を合わせ、ボルトを通し、反対側からナットを仮止めします。
- ③ ②で取り付けた右爪の90° 時計回りに、左爪を内側にそるように取付け穴を合わせ、ボルトを通し、反対側からナットを仮止めします。
- ④ ③で取り付けた左爪の90° 時計回りに、右爪を外側にそるように取付け穴を合わせ、ボルトを通し、反対側からナットを仮止めします。
- ⑤ それぞれの爪が重ならないように調整し、すべてのナットを締め、爪をしっかり固定します。
- ⑥ 外ホルダに、同じ要領で爪を取り付けます。



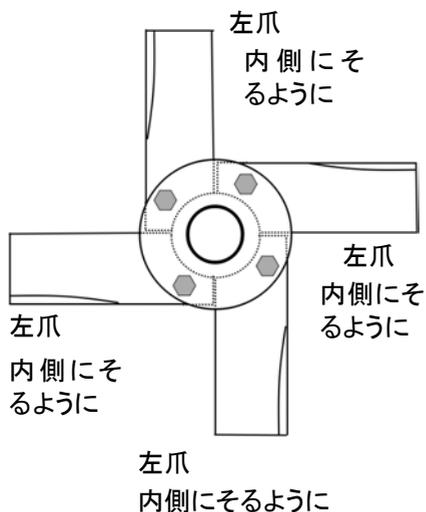
組立

4.内盛り用のローターの組立

内盛り用のローターは、爪がすべて内側に向くように、取り付けます。

- ・ギヤボックス取付け側から見た状態で作業します。
- ・右ローターは、耕うん軸の中ホルダ、外ホルダに、右爪だけ使い、内側にそるように取り付けます。
- ・左ローターは、耕うん軸の中ホルダ、外ホルダに、左爪だけ使い、内側にそるように取り付けます。

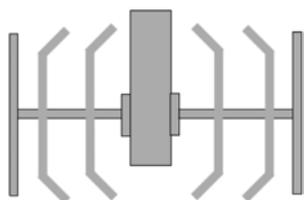
左ローターの組立



右ローターの組立



爪のイメージ

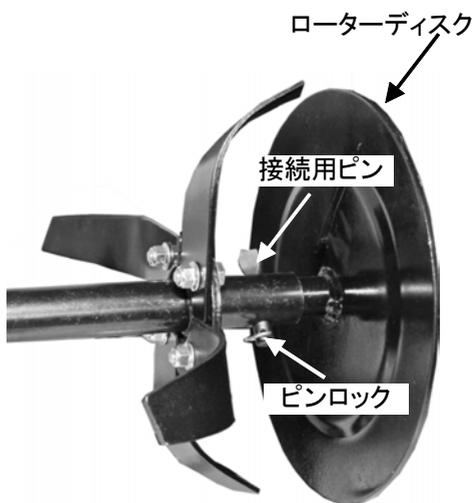


組立

6.ローターディスクの取付け

左右ローターの外側に、ローターディスクを取り付けます。

- 1.ローターディスクの軸を耕うん軸に差し込み、取付け穴を合わせます。
- 2.接続用ピンを通します。
- 3.ピンロックを入れます。
- 4.ピンロックが機能し、ピンが抜けないことを確認してください。
- 5.反対側のローターディスクも同じ方法で取り付けます。



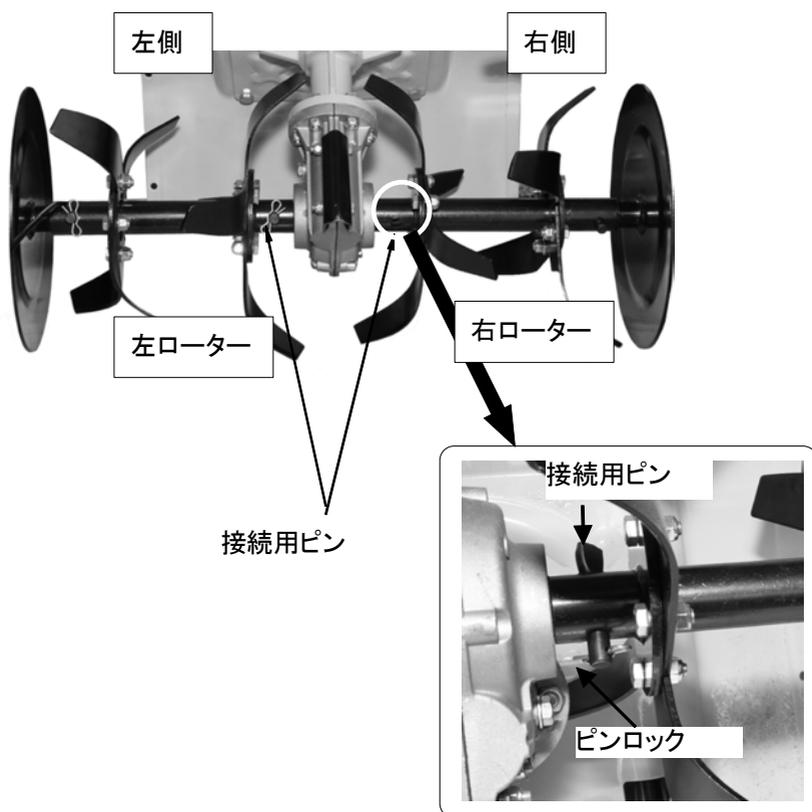
組立

●ローターの取付け

本体ローターシャフトに、左右ローターを取り付けます。

■取付け手順

1. 左右ローター、接続用ピン、ピンロックを準備します。
2. 右ローターを、本体に向かって右側に、左ローターを、本体に向かって左側に取り付けます。
3. ローターをシャフトに差し込み、接続用の穴を合わせます。
4. 接続用ピンを差し込み、ピンロックを入れます。
5. ピンロックが機能し、ピンが抜けないことを確認してください。
6. 反対側のローターも同じ方法で取り付けます。



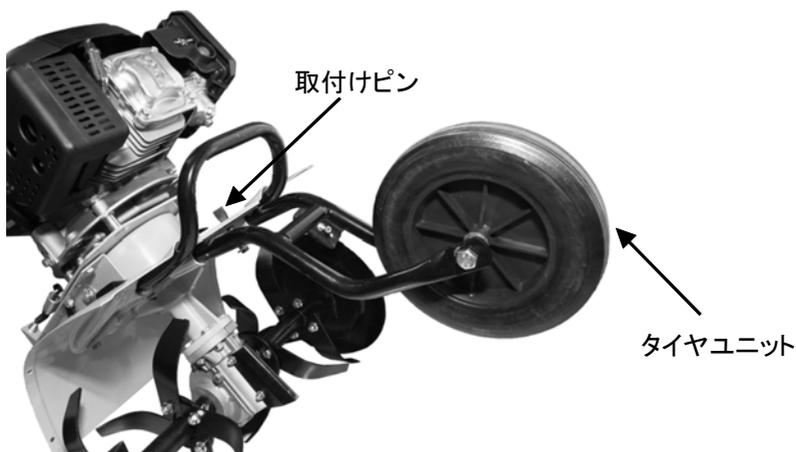
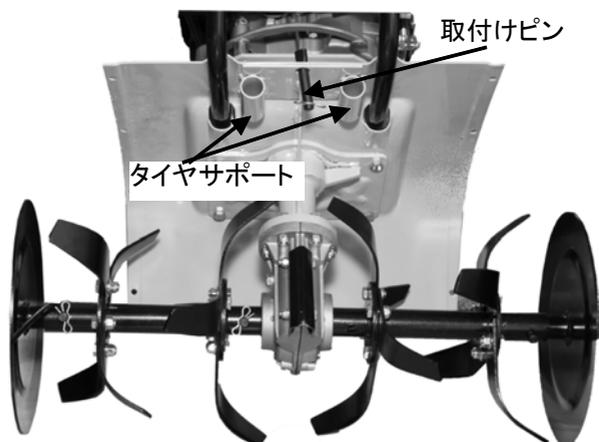
組立

●タイヤユニットの取付け

タイヤユニットを本体に取り付けます。

■取付け手順

- 1.タイヤユニットを準備します。
- 2.本体取付け穴に予め取り付けている取付けピンからピンロックを外して、取り外します。
- 3.タイヤユニットを本体のタイヤサポートに差し込みます。
- 4.取付けピンを通し、ピンロックを入れて、固定します。



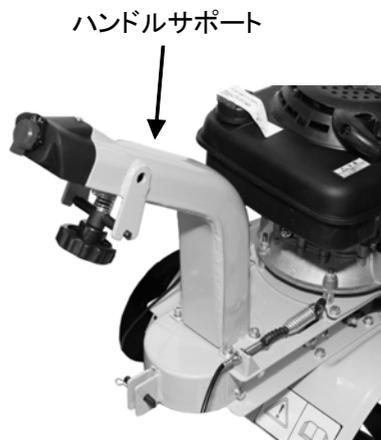
組立

●ハンドルサポートの取付け

ハンドルサポートを、本体にボルトで固定します。

■取付け手順

- 1.ハンドルサポートを準備します。
- 2.本体に仮止めしているボルトを外します。
- 3.ハンドルサポートを本体の取付け位置に合わせ、取付け穴を一致させます。
- 4.ボルトにワッシャを通し、取付け穴に差し込みます。
- 5.5本のボルトを均等に締め、しっかりハンドルサポートを固定します。



- 6.ハンドルサポートに配線されているコードのコネクタ端子と、本体から出ているコードのコネクタ端子を接続します。コネクタ形状が、丸形同士、平形同士を接続します。



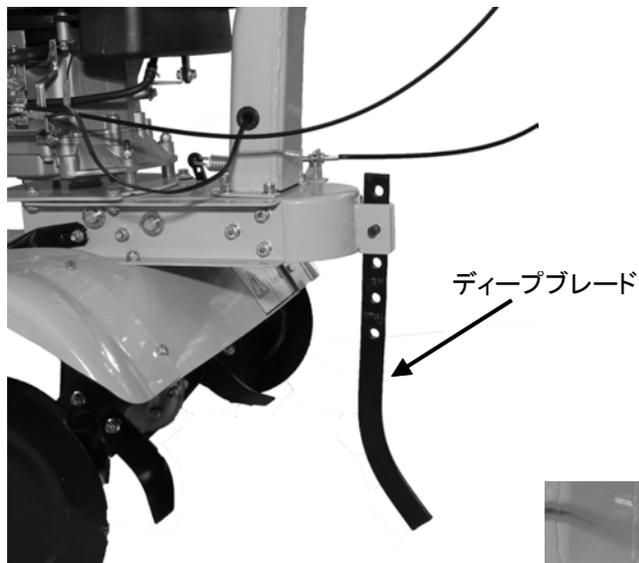
組立

●ディープブレードの取付け

本体にディープブレードを取り付けます。

■取付け手順

- 1.ディープブレード、止めピン、ピンロックを準備します。
- 2.本体のディープブレード位置に、予め取り付けられている止めピンを取り外します。
- 3.ディープブレードを通し、取付け位置に合わせ、取付け穴を一致させます。
- 4.止めピンを差し込み、ピンロックを入れて固定します。



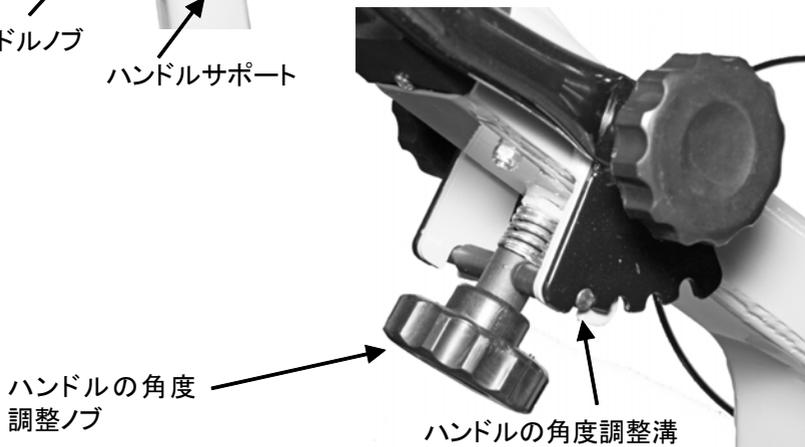
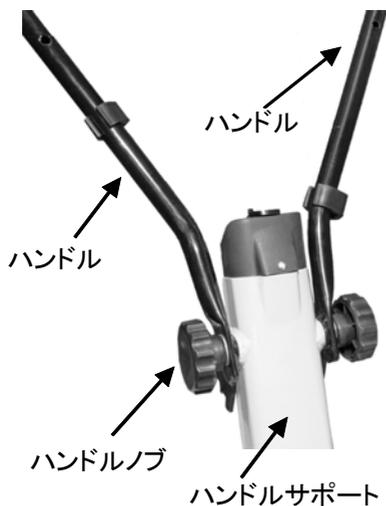
組立

●ハンドルの取付け

ハンドルサポートにハンドルを固定します。

■取付け手順

- 1.ハンドル、ハンドルノブセットを準備します。
- 2.ハンドルノブセットの片側のノブ、ワッシャを取り外します。
- 3.ハンドルサポートの取付け位置に、片側ハンドルを合わせ、ハンドルノブのボルトを通し、反対側のハンドルを通し、ワッシャを入れてノブで軽く締めます。
- 4.左右のハンドルが同じ角度になるように、ハンドルの角度調整ノブをゆるめ、ハンドルの角度調整溝にはめます。溝に入った後、角度調整ノブを締めます。
- 5.ハンドルノブを締め、ハンドルを固定します。



組立

●ハンドルパネルの取付け

ハンドルにハンドルパネルを取り付けます。

■取付け手順

- 1.ハンドルパネルを準備します。
- 2.ハンドルにある取付け穴にハンドルパネルを上からかぶせ、取付け穴を合わせます。
- 3.ボルトを通し、反対側からワッシャを通し、ナットを締め、しっかりハンドルパネルを固定します。

ハンドルパネル



組立

●アクセルの取付け

アクセルをハンドルに取り付けます。

■取付け手順

- 1.本体から出ている、アクセルに予め取り付けられているボルト、ナットを取り外します。
- 2.ハンドルの左外側の取付け位置に合わせ、取付け穴を一致させます。
- 3.アクセル本体側からボルトを通し、内側より、ワッシャを通しナットを締め、しっかりアクセルを固定します。



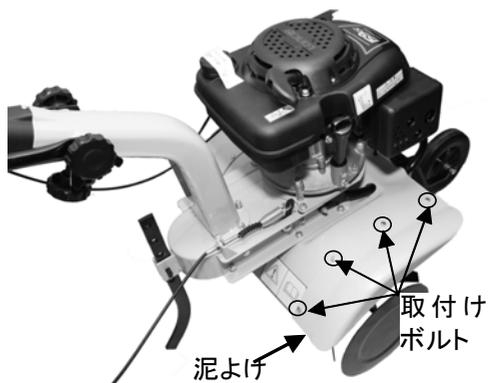
組立

●泥よけの取付け

本体に左右の泥よけを取り付けます。

■取付け手順

- 1.左右の泥よけ、ボルト、ワッシャ、ナットを準備します。
- 2.泥よけを本体の取付け位置に合わせ、取付け穴を一致させ、4本のボルトを通し、裏からワッシャを入れて、ナットを回し、しっかり固定します。
- 3.反対側の泥よけも同じ要領で取り付けます。

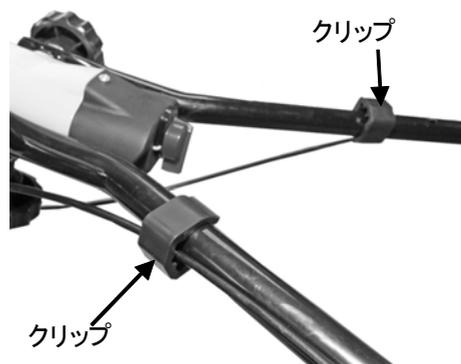


●ワイヤーをハンドルに止める

ワイヤーをハンドルにクリップで固定します。

■取付け手順

- 1.左右のハンドルに予め取り付けられているクリップを外します。
- 2.クリップにワイヤを挟んで、ハンドルに取り付けます。



運転前の点検

●燃料の点検・補充



警告



- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行って下さい。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。 所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
- ・燃料キャップは確実に締めてください
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

燃料(無鉛ガソリン)の量を点検します。

■点検手順

- 1.燃料タンクキャップを外し、液面を見て残量を確認します。
- 2.少ないときは上限の位置まで補給してください。
- 3.補給後、給油キャップを確実に閉めてください。

使用燃料 自動車用無鉛ガソリン (レギュラーガソリン)

運転前の点検

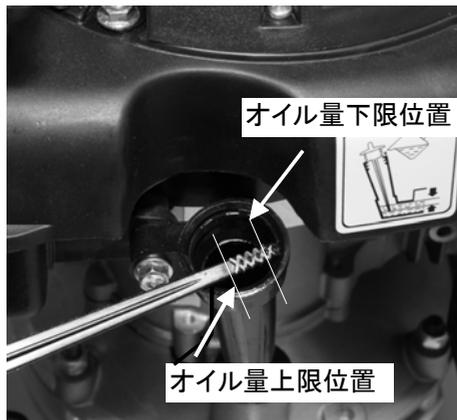
●エンジンオイルの点検

エンジンオイルの量、よごれを確認します。

■点検手順

- 1.車体を水平な場所に移動させます。
- 2.オイル給油キャップを外します。
- 3.オイルが、オイルゲージのオイル量範囲にあるか点検してください。
- 4.オイル量が少ないときは、新しいオイルを、上限位置を超えないように、補給してください。
- 5.オイル給油キャップを締めます。

推奨オイル SAE 10W-30
オイル容量 0.55L



⚠ 注意

エンジンオイルの量は適切な値に保ってください。エンジンの故障の原因になります。上限を超えるとエンジンがかからなくなります。少ないと、エンジンの焼き付けを起こします。

●各部の締付け

ボルト・ナットにゆるみがないことを確認してください。

●ローターの爪

- 1.ローターの爪を固定しているボルト・ナットに緩みがなく、しっかり爪が固定されていることを点検してください。
- 2.爪に損傷・曲がりまたは摩耗がないか確認してください。

●レバーの動作確認

レバーがスムーズに動作し、適度な遊びがあることを確認してください。

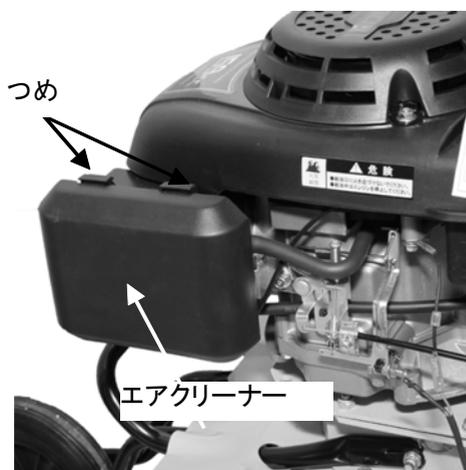
運転前の点検

●エアークリーナーの点検

エアークリーナーの汚れを点検します。

■点検手順

1. エアークリーナーのつめを押さえながらし、カバーを外します。
2. フィルタを外し、フィルタの内側から圧縮空気を吹きつけて汚れを落とします。
3. スポンジの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯で丁寧に洗い、よく乾燥させます。
4. 取り外しと反対の手順で取り付けてください。



運転操作のしかた

警告



- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。

- ・回転している部分の近くに手又は足を入れないでください。



- ・運転中は必ず両手でしっかりハンドルを握ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。

- ・装置から離れるときは必ずエンジンを停止してください。

注意

- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

運転操作のしかた

●エンジンのかけ方

1. 前進クラッチレバーを離します。
2. ハンドルサポートにあるエンジンスイッチを「ON」にします。
3. アクセルレバーを最低速から少し上げた位置に合わせてみます。
4. リコイルハンドルを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから勢いよく真っすぐ引張ります。エンジンがかかるまで、数回繰り返します。ロープを最後まで引張らないでください。引いたリコイルハンドルを途中で放さないで、ゆっくり戻してください。
5. エンジンを起動後、暖気運転を行い、運転状況を確認します。
6. ゆっくりアクセルを「高回転」側に倒すと、エンジンの回転が上がります。



●エンジンの止め方

1. 前進クラッチレバーから手を離します。
2. アクセルレバーを低回転にします。
3. エンジンスイッチを「OFF」にします。

運転操作のしかた



警告



- ・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- ・屋内で使用しないでください。
- ・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- ・急傾斜地では使用しないでください。
- ・石、コンクリート、金属、など硬質なものがある場所では使用しないでください。
- ・室内や換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・土や砂利道の上でローターを回転させないでください。
- ・作業する場所の異物はあらかじめ取り除いておいてください。
- ・回転部分に顔や手足、髪の毛、衣服などを近づけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・使用中は、点火プラグキャップ部や高圧コードに触れないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。

運転操作のしかた

警告



- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- ・エンジン回転中は、高さ調節をしないでください。
- ・エンジンが熱いうちは、可燃物を近づけないでください。
- ・回転部分のカバーを外して運転しないでください。



- ・使用前にローターに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・各部のネジに緩みが無いことを点検してください。
- ・始動前点検を実施してください。始動前点検で異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽、耳栓などの作業に適した服装を心掛けてください。
- ・使用者は、使用者自身や周囲の人、動物に対する危険事項を理解し、十分注意してください。
- ・運転中は、排気ガスに十分注意してください。
- ・ハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業してください。走るような操作はしないでください。
- ・坂道の走行には注意してください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- ・使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ・異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、耕耘機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ耕耘機を再始動しないでください。
- ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- ・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・製品を搬送する際、積み込み、積み下ろしは二人で行ってください。

運転操作のしかた

● 耕起作業を行う

■ 耕起準備

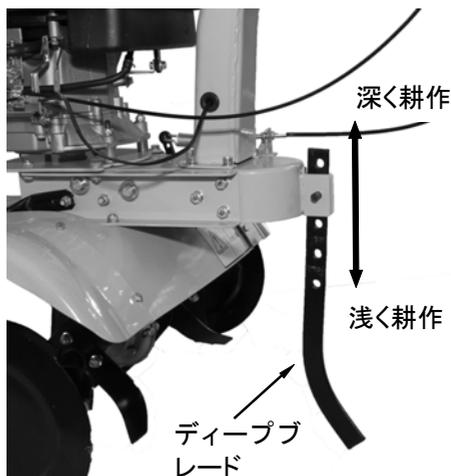
1. 耕耘機を使用する前に、圃場から、ガラス、棒、大きな石、および針金などの異物を取り除いてください。

2. ハンドルの高さ調整

使用者が使いやすい高さにハンドルを調整します。ハンドル角度調整ノブを緩め、ハンドルを適切な角度調整溝に入れ、高さを調節します。ハンドルノブ、角度調整ノブをしっかり締めます。

3. ディープブレードの高さ調整

耕うんする深さに合わせて、調整します。上の方の穴にセットすると、抵抗が大きくなり前進速度を抑え、耕うん深さが深くなります。



■ 耕起操作

1. 前進クラッチレバーから手を離します。

2. 移動用車輪を外します。

3. エンジンを始動します。

4. アクセルレバーを作業に適した速度になる位置に合わせます。

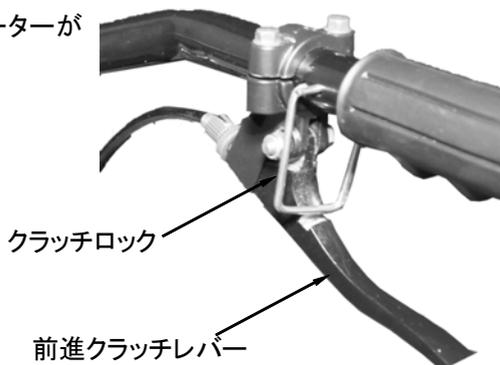
5. クラッチロックを外します。

6. クラッチレバーをゆっくり握ります。

7. ローターが回り、車体が前進します。

8. ハンドルは、少し下に押さえるだけにし、無理に押さえつけないようにしてください。押さえすぎると、ローターが地面から浮くことがあります、危険です。

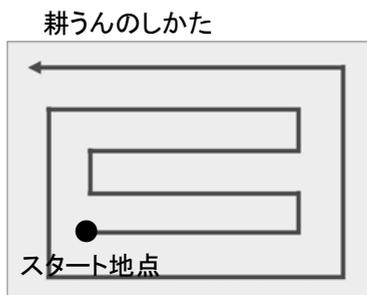
9. 前進クラッチレバーを放すと、ローターが止まり、本体はストップします。



運転操作のしかた

■ 耕うんのしかた

1. スタート地点から、まっすぐ耕うんしていきます。
2. 畑の端にきたら、アクセルレバーを最低速にし、ハンドルを持ち上げディープブレードを地面から上げて、ゆっくり本体をUターンさせます。
3. アクセルレバーを高速にして、耕うんしてきた隣を耕うんするように本体を操作します。
4. 耕うん作業を畑の端まで繰り返し行います。
5. 土が硬い場合は、一度に掘るのでなく、複数かいに分けて掘ると、効率良く耕うんができます。
6. 圃場への出入りは低速で行ってください。



● 運搬、輸送について

本機を運搬するときは、次のことに注意してください。

警告



- ・運搬時は必ずエンジンを停止してください。
- ・重量物の運搬は、2人以上で行って下さい。
- ・運搬する場合は、燃料もれによる火災を防止するため、燃料タンク、キャブレタからガソリンを抜き取ってください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

注意



- ・運搬中に本体が動かないように、ロープなどでしっかり固定してください。
- ・本体を水平になるように保持してください。

点検整備のしかた

お買い求めいただきました製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検を実施してください。

点 検 項 目	実施時期
燃 料 の 点 検	作業前
エンジンオイルの点検	作業前
エアクリーナーの点検	作業前
エンジンオイルの交換	初回20時間 以降100時間毎
点火プラグの点検・清掃	点検50時間 交換250時間毎
各部のネジの緩み点検	作業前
燃料系の点検・メンテナンス	長期保存の前

ご自身で点検、修理ができない場合は、ハイガー産業までご相談ください。



警告

- ・安全を確保し作業を行って下さい。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。



注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管してください。

点検整備のしかた

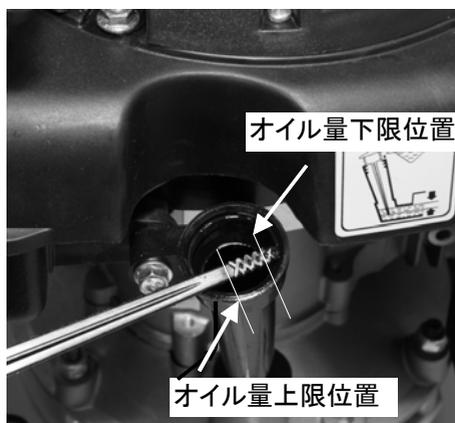
●エンジンオイルの交換

エンジンオイルの交換を行います。

■交換のしかた

- 1.製品を水平な場所で水平な状態にします。
- 2.市販されているオイルチェンジャーを準備してください。
- 3.オイル給油キャップを開けます。
- 4.オイル給油口にオイルチェンジャーのノズルを深く差し込みます。
- 5.オイルチェンジャーを操作し、オイルを完全に抜きます。
- 6.新しいエンジンオイルをオイルゲージのオイル量範囲の位置まで入れます。
- 7.注入後、オイル給油キャップを締めます。

推奨オイル SAE 10W-30
オイル容量 0.55L



注意

エンジンオイルの量は適切な値に保ってください。エンジンの故障の原因になります。上限を超えるとエンジンがかからなくなります。少ないと、エンジンの焼き付けを起こします。

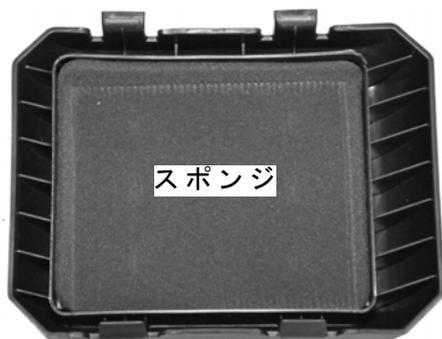
点検整備のしかた

●エアクリナーの清掃

エアクリナーのフィルタを清掃します。

■清掃のしかた

1. エアクリナーのつめを押さえながらし、カバーを外します。
2. フィルタを外し、フィルタの内側から圧縮空気を吹きつけて汚れを落とします。
3. スポンジの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯で丁寧に洗い、よく乾燥させます。
4. 取り外しと反対の手順で取り付けてください。



点検整備のしかた

● 点火プラグの点検・清掃

点火プラグを外し、電極の点検・清掃を行います。

■ 点検のしかた

1. 点火プラグキャップを取り外します。
2. 点火プラグを取り外します。
3. 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。
4. 隙間は0.7mm～0.8mmが適切です。
5. 取り外しと反対の手順で取り付けてください。



点検整備のしかた

●燃料系の点検・メンテナンス

燃料タンクのカソリン、キャブレターのガソリンを抜きます。
ガソリンを受ける容器を用意してください。

■点検のしかた

- 1.燃料タンクのキャップを外し、タンク内の燃料を抜きます。
- 2.キャブレターに斜めについているボルト(+の溝があります)①を緩めて、ガソリンを容器にうけます。この方法でキャブレターの燃料を抜くことができます。キャブレターの下側に付いている②のボルトは絶対に緩めないで下さい。
- 3.緩めたボルトは、必ずしっかり締めて下さい。



長期間使用しないとき

長期間使用しないときは、次の手入れを行い、保管してください

- 1.燃料タンク、キャブレターの燃料を抜きます。
- 2.ローター、泥よけを清掃します。
- 3.各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 4.防錆、給油を行います。

警告

- ・安全を確保し作業を行って下さい。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

故障と思ったら

●エンジンがかからない

点火プラグに火花が出ていない	①始動スイッチボタンの不良 ②スパーク・プラグ不良 ③スパーク・プラグ・キャップ接続不良 ④イグニッションコイルの不良	交換 交換 調整 交換
キャブレターに燃料が来ていない	①燃料がはいっていない ②燃料ホースの詰まり、漏れ ③燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	燃料を入れる ホース清掃、交換 交換、フィルタ清掃
エンジン内に燃料が来ていない	①キャブレター詰まり(ニードル・バルブ膠着)	キャブレター分解掃除

●ローターが動かない

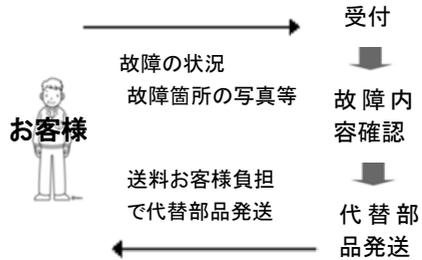
クラッチが繋がったり切れたりする	①クラッチハンドルの故障 ②クラッチワイヤーの破損、伸び	新品に交換 調整、新品に交換
エンジンは動くがローターが遅い、動かない	①ベルトの破損、伸び	新品に交換 新品に交換

お客様ご相談窓口

まず、「故障と思ったら」を参考に、ご自身で点検してください。

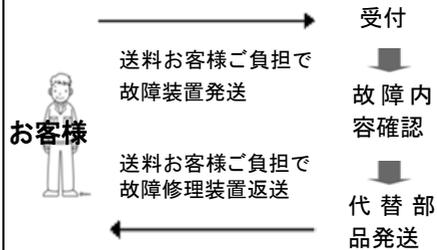
●故障部品をお客様で交換される場合

保証期間内は消耗品を除き壊れた部品は当社で保証します。
送料は全てお客様のご負担となります。



●故障品をメーカーで修理する場合

保証期間内の本体修理も無料で承ります。
その際に生じる往復の送料はお客様のご負担となります。



修理、部品に関するご相談

修理、部品を依頼される時は下記の事項をご連絡ください。

- ① 故障の状況
- ② 型式
- ③ ご購入サイト、年月日
- ④ お名前、ご住所、電話番号

修理 使い方などのご連絡窓口

お問い合わせ窓口

TEL 0276-55-2275

FAX 0276-55-2276

メール support@haige.jp

住所 〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

MEMO

MEMO

MEMO

Hi Δ IGE

ハイガー産業株式会社